

○当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（商品）／インデックス型	
信託期間	無期限	
運用方針	・「ゴールド・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主として金現物に投資する上場投資信託証券「SPDR® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト*1」に投資し、LBMA 金価格(円換算ベース)*2に連動する投資成果を目指します。 *1 正式名称：SPDR GOLD MINISHARES TRUST *2 正式名称：LBMA Gold Price PM ・投資対象上場投資信託証券への実質投資割合は、原則として高位を維持します。 ・外貨建資産およびマザーファンド受益証券組入れに伴う実質的な組入外貨建資産については、ベンチマークとの連動性を維持することを目的とする場合を除き、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーフンド	ゴールド・マザーファンド
	マザーファンド	SPDR® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト
組入制限	ベビーフンド	・マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。 ・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・投資信託証券(マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額の範囲 分配対象額は経費控除後の利子、配当収入および売買益(評価益を含みます。)等の範囲内とします。 ②分配対象収益についての分配方針 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象金額が少額の場合には分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用方針 特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

ステート・ストリート・ゴールド・オープン

(為替ヘッジなし)

第 1 期 運用報告書(全体版)

(決算日 2026 年 6 月 22 日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申しあげます。

この度、当ファンドは上記の通り決算を行いましたので、運用状況をご報告させていただきます。

今後とも、ご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

<ファンドに関する照会先>

電話番号 03(4530)7333

お問い合わせ時間（営業日） 9:00～17:00

ホームページアドレス www.statestreet.com/im

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

〒105-6325 東京都港区虎ノ門一丁目 23 番地 1 号 虎ノ門ヒルズ森タワー 25 階

◎設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			<ベンチマーク>		受 益 証 券 発行信託の 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
	(分配落)	税込み 分配金	期 中 騰落率		期 中 騰落率		
(設 定 日)	円	円	%		%	%	百万円
'25年8月14日	10,000	－	－	10,000	－	－	146
1期('26年6月22日)	13,778	0	37.8	13,585	35.9	99.8	14,805

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) ベンチマークは、「LBMA金価格(1トロイオンス当たり/米ドルベース)」の円換算ベースで、LBMA金価格(1トロイオンス当たり/米ドルベース)について、投資信託の会計基準に合わせて委託会社が独自に円換算および合成し、ファンド設定日を10,000として指数化したものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「受益証券発行信託の受益証券組入比率」は実質比率を記載しています。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		<ベンチマーク>		受 益 証 券 発行信託の 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率	
(設 定 日)	円	%		%	%
'25年8月14日	10,000	－	10,000	－	－
8月末	10,191	1.9	10,140	1.4	103.6
9月末	11,554	15.5	11,539	15.4	107.3
10月末	12,558	25.6	12,466	24.7	98.8
11月末	13,208	32.1	13,177	31.8	99.3
12月末	13,737	37.4	13,752	37.5	103.5
'26年1月末	16,764	67.6	16,821	68.2	100.5
2月末	16,369	63.7	16,306	63.1	99.5
3月末	14,595	46.0	14,666	46.7	99.8
4月末	14,747	47.5	14,690	46.9	99.7
5月末	14,489	44.9	14,267	42.7	100.3
(期 末)					
'26年6月22日	13,778	37.8	13,585	35.9	99.8

(注1) 騰落率は設定日比です。

(注2) ベンチマークは、「LBMA金価格(1トロイオンス当たり/米ドルベース)」の円換算ベースで、LBMA金価格(1トロイオンス当たり/米ドルベース)について、投資信託の会計基準に合わせて委託会社が独自に円換算および合成し、ファンド設定日を10,000として指数化したものです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「受益証券発行信託の受益証券組入比率」は実質比率を記載しています。

当期の運用実績

（2025年8月14日から2026年6月22日まで）

基準価額とベンチマークの推移



(注1) ベンチマークは、「LBMA金価格(1トロイオンス当たり/米ドルベース)」の円換算ベースで、LBMA金価格(1トロイオンス当たり/米ドルベース)について、投資信託の会計基準に合わせて委託会社が独自に円換算および合成し、ファンド設定日を10,000として指数化したものです。

(注2) 基準価額は、分配金(税込み)を再投資したものととして計算しています。

決算期	当初元本	期末基準価額 (分配落ち)	分配金	基準価額 騰落率	ベンチマーク 騰落率
第1期	10,000円	13,778円	0円	+37.8%	+35.9%

当期末の基準価額は13,778円となり、当初元本の10,000円に比べて3,778円の上昇となりました。

基準価額の変動要因

ベンチマーク(「LBMA金価格(1トロイオンス当たり/米ドルベース)」の円換算ベース)の動きをほぼ反映して、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境」をご参照ください。

ベンチマークとの比較

基準価額の騰落率は37.8%となり、ベンチマークの騰落率(35.9%)を1.9%上回りました。主な要因は、以下の通りです。

【ベンチマークとの差異の要因】

ベンチマークの騰落率との差異は運用管理コストや実質投資対象であるETFと現物金価格の差等が理由として挙げられます。

収益分配金

当期の収益分配金は基準価額の水準、市況動向などを勘案した結果、見送りとしております。また収益分配に充てず信託財産に留保した収益は、特に制限を設けず、元本部分と同様の運用を行う方針です。

投資環境

（2025 年 8 月 14 日から 2026 年 6 月 22 日まで）

金価格市況

世界の株式市場は、米利下げ観測や米関税交渉の進展期待を背景に堅調に推移しました。期の後半には、中東情勢の緊迫化や利下げ観測の後退を背景にリスク回避姿勢が強まり調整する場面もみられました。期末にかけては、米国とイランの停戦合意を受けた地政学リスクの後退に加え、AI関連株を中心としたハイテク株高が相場を支える中、上昇しました。

債券市場は、中東情勢の進展やFRBの金融政策見通しを巡る思惑に左右される展開となりました。FOMC後は、米国の追加利上げ観測の高まりが債券の売り要因となった一方、米国とイランの停戦合意を受けた原油価格の下落がインフレ懸念の後退につながり、債券の買い要因となりました。

このような環境下、金価格は上昇しました。期の前半は米利下げ観測の高まりや地政学リスクの高まりを背景に堅調に推移しました。その後、期末にかけては米利下げ観測の後退や米ドル高が重荷となり、上昇幅を縮小しました。

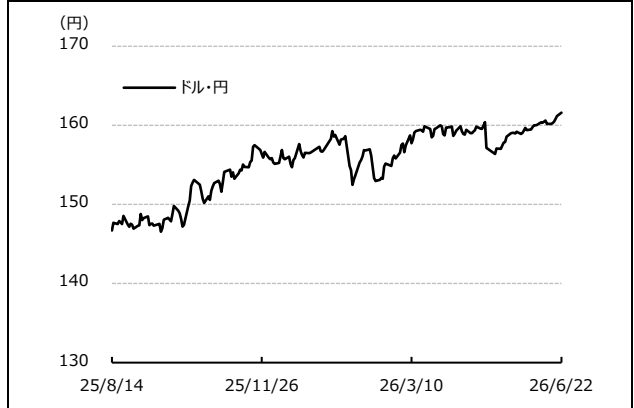
LBMA金価格(1トロイオンスあたり)の推移



為替市況

為替相場は、円安・ドル高となりました。期初は米利下げ観測の高まりが円買い・ドル売り材料となりましたが、積極財政と金融緩和を志向する高市新政権の発足による日銀の利上げ観測の後退と財政拡張への警戒から、円安が進行しました。その後は、中東情勢の緊迫化を背景とした原油価格の高止まりを受けて、日本の交易条件悪化懸念が意識されたことなどが円売り材料となりました。また、地政学リスクへの警戒を背景とした安全資産としてのドル需要や、底堅い米国経済を背景とするドル買いが優勢となり、期末にかけて円安基調で推移しました。

ドル・円相場の推移



運用の概況

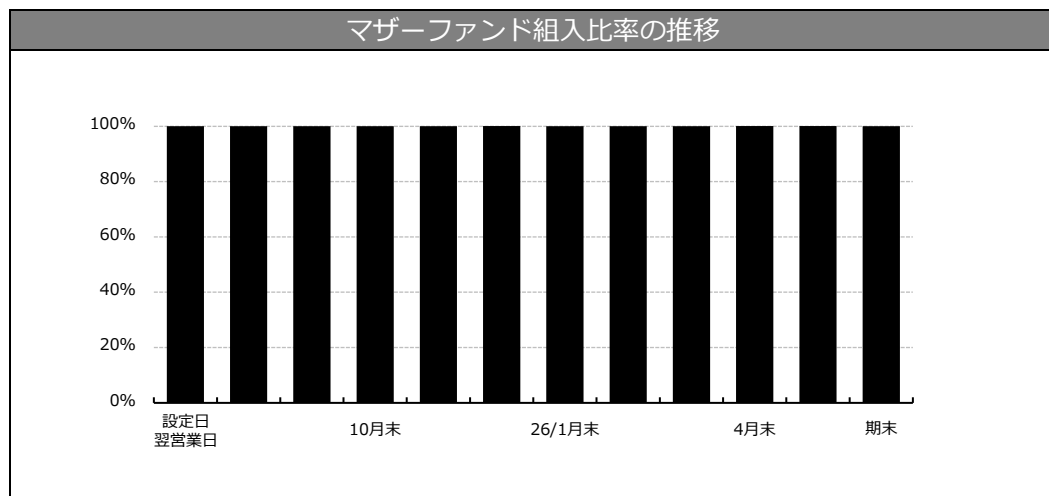
（2025 年 8 月 14 日から 2026 年 6 月 22 日まで）

当ファンドは、ゴールド・マザーファンド(以下、「マザーファンド」といいます。)受益証券を主な投資対象としています。マザーファンドの組入比率は原則として高位を保ち、実質的な組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。

マザーファンドは、主として上場投資信託証券「SPDR® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト」に投資し、金現物市場を代表する指標であるLBMA金価格(円換算ベース)に連動する投資成果を目指した運用を行うことを基本的な運用方針としています。上場投資信託証券への投資は原則として高位を維持し、組入外貨建資産に対する為替ヘッジは原則として行いません。

マザーファンドの組入状況

当期は、設定日翌営業日からマザーファンドの組み入れを開始し、設定・解約に伴う一時的な増減を除き、マザーファンドを高位に組み入れました。



今後の運用方針

今後も引き続き、マザーファンドを通じて、上場投資信託証券「SPDR® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト」に対する組入比率を高水準に保つことで、LBMA金価格(円換算ベース)に対する連動性を最大限高める運用を継続してまいります。

◎1 万口(元本 10,000 円)当たりの費用の明細

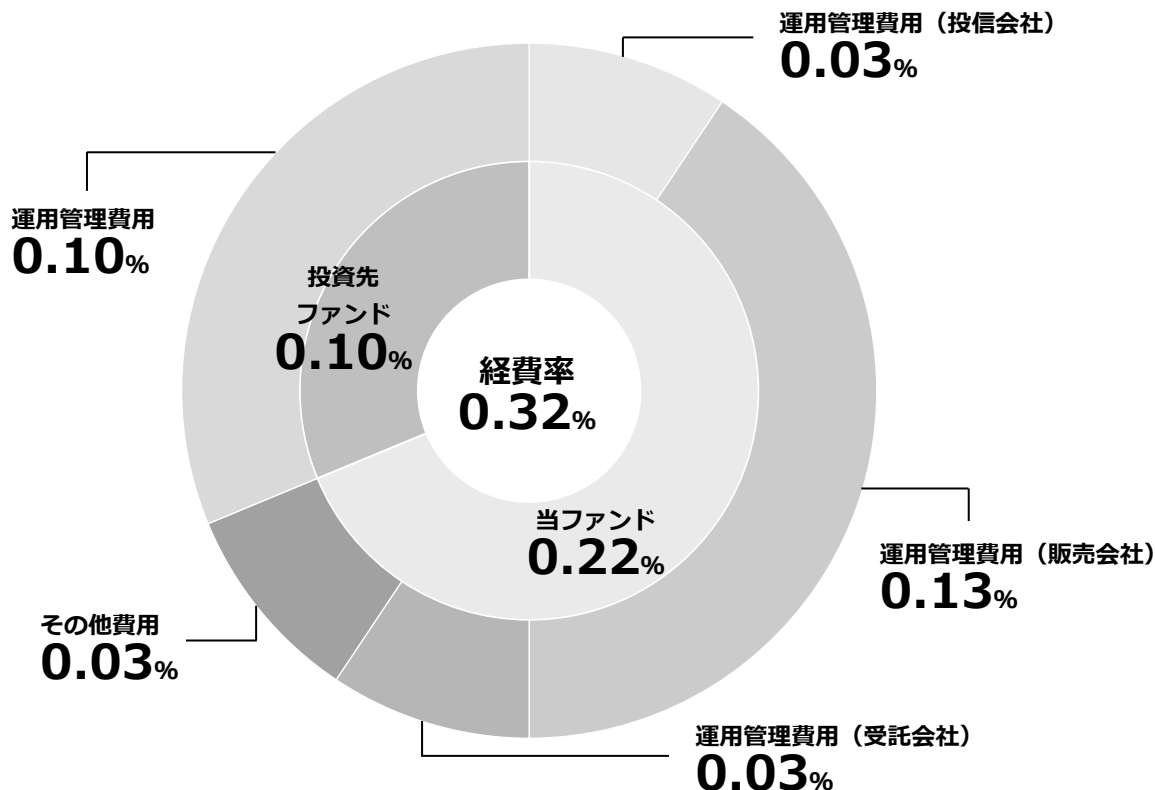
項 目	当 期 (2025年8月14日～2026年6月22日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
平 均 基 準 価 額	13,821円	—	期中の平均基準価額です。
(a) 信 託 報 酬	23円	0.165%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 消費税は報告日の税率を採用しています。
（ 投 信 会 社 ）	（ 4 ）	（0.028）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 16 ）	（0.113）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 3 ）	（0.024）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の 対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.027	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中 の平均受益権口数
（ 受益証券発行信託の受益証券 ）	（ 4 ）	（0.027）	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売 買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中 の平均受益権口数
（ 受益証券発行信託の受益証券 ）	（ 0 ）	（0.000）	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生 する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	4	0.029	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受 益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 1 ）	（0.007）	・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払 う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の 移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 1 ）	（0.010）	・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの 監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	（ 2 ）	（0.013）	・ 印刷費用等は、法定書類等の作成、印刷、交 付等に要する費用
（ そ の 他 ）	（ 0 ）	（0.000）	・ その他は、信託事務の処理等に要するその他 の諸費用
合 計	31円	0.221%	

- (注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。
- (注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注4) 各項目の費用は、マザーファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- (注5) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○経費率(投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。)

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した**経費率(年率)**は**0.32%**です。



経費率 (① + ②)	0.32%
①当ファンドの費用の比率	0.22%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.10%

(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、マザーファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれていません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎売買および取引の状況('25 年 8 月 14 日から'26 年 6 月 22 日まで)

○親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ゴ ー ル ド ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	10,955,142	15,207,471	228,750	303,792

(注) 単位未満は切り捨てています。

◎利害関係人との取引状況等('25 年 8 月 14 日から'26 年 6 月 22 日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定される利害関係人です。

◎自社による当ファンドの設定・解約状況

当期設定元本	当期解約元本	当期末残高(元本)	取 引 の 理 由
千円 2,000	千円 －	千円 2,000	当初設定時における取得

(注) 単位未満は切り捨てています。

◎組入資産の明細('26 年 6 月 22 日現在)

○親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
ゴ ー ル ド ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	10,726,391	14,805,637

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末におけるゴールド・マザーファンド全体の口数は12,576,287千口です。

当期末における株式および新株予約権証券の残高はありません。

◎投資信託財産の構成('26 年 6 月 22 日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ゴ ー ル ド ・ マ ザ ー フ ァ ン ド	14,805,637	99.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	51,819	0.3
投 資 信 託 財 産 総 額	14,857,456	100.0

- (注1) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=161.60円です。
- (注2) ゴールド・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(17,329,489千円)の投資信託財産総額(17,454,896千円)に対する比率は99.3%です。
- (注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況

（'26年6月22日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A)資 産	14,857,456,487
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	51,817,503
ゴールド・マザーファンド(評価額)	14,805,637,669
未 収 利 息	1,315
(B)負 債	51,761,725
未 払 解 約 金	41,463,747
未 払 信 託 報 酬	9,262,717
そ の 他 未 払 費 用	1,035,261
(C)純 資 産 総 額 (A-B)	14,805,694,762
元 本	10,745,939,128
次 期 繰 越 損 益 金	4,059,755,634
(D)受 益 権 総 口 数	10,745,939,128口
1万口当たり基準価額(C/D×10,000)	13,778円

(注) 設定元本額 146,668,376円
 期中追加設定元本額 13,577,554,793円
 期中一部解約元本額 2,978,284,041円

◎損益の状況

当期（自'25年8月14日 至'26年6月22日）

項 目	当 期
	円
(A)配 当 等 収 益	210,177
受 取 利 息	210,177
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 361,741,254
売 買 益	21,569,124
売 買 損	△ 383,310,378
(C)信 託 報 酬 等	△ 15,170,918
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 376,701,995
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	4,436,457,629
(配 当 等 相 当 額)	(44,453)
(売 買 損 益 相 当 額)	(4,436,413,176)
(F) 計 (D + E)	4,059,755,634
(G)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (F + G)	4,059,755,634
追 加 信 託 差 損 益 金	4,436,457,629
(配 当 等 相 当 額)	(151,268)
(売 買 損 益 相 当 額)	(4,436,306,361)
繰 越 損 益 金	△ 376,701,995

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
 (注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。
 (注3) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。

(注4) 分配金の計算過程

A	費用控除後の配当等収益	0円
B	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益	0円
C	収益調整金	4,059,755,634円
D	分配準備積立金	0円
E	分配対象収益 (A+B+C+D)	4,059,755,634円
F	分配対象収益 (1万口当たり)	3,777円
G	分配金	0円
H	分配金 (1万口当たり)	0円

◎1 万口当たり分配原資の内訳(税込み)

項 目	第 1 期 (2025 年 8 月 14 日～ 2026 年 6 月 22 日)
当期分配金	- 円
(対基準価額比率)	- %
当期の収益	- 円
当期の収益以外	- 円
翌期繰越分配対象額	3,777 円

- (注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎約款変更のお知らせ

「一般社団法人投資信託協会」を「一般社団法人資産運用業協会」への変更に伴い、信託約款において当該箇所について所要の変更を2026年4月1日に行いました。

◎ブランド名変更のお知らせ

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズはブランド名をステート・ストリート・インベストメント・マネジメントに変更いたしました。ステート・ストリート・インベストメント・マネジメントは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が行う資産運用関連業務のブランド名です。



ゴールド・マザーファンド

第 1 期 運用報告書 (決算日 2026 年 6 月 22 日)

この度、当ファンドは上記の通り決算を行いましたので、運用状況をご報告させていただきます。

○当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	・主として、投資対象上場投資信託証券「SPDR® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト^{*1}」に投資し、LBMA金価格(円換算ベース)^{*2}に連動する投資成果を目指します。 ^{*1} 正式名称：SPDR GOLD MINISHARES TRUST ^{*2} 正式名称：LBMA Gold Price PM ・投資対象上場投資信託証券への投資割合は、原則として高位を維持します。 ・組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	上場投資信託証券： SPDR® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト
組 入 制 限	・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

〒105-6325 東京都港区虎ノ門一丁目23 番地 1 号 虎ノ門ヒルズ森タワー25 階

◎設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		<ベンチマーク>		受 益 証 券 発行信託の 受 益 証 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		期 中 騰 落 率		期 中 騰 落 率		
(設 定 日)	円	%		%	%	百万円
'25年 8月 14日	10,000	－	10,000	－	－	208
1期('26年 6月 22日)	13,803	38.0	13,585	35.9	99.8	17,359

(注) ベンチマークは、「LBMA金価格(1トロイオンス当たり／米ドルベース)」の円換算ベースで、LBMA金価格(1トロイオンス当たり／米ドルベース)について、投資信託の会計基準に合わせて委託会社が独自に円換算および合成し、ファンド設定日を10,000として指数化したものです。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		<ベンチマーク>		受 益 証 券 発行信託の 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率		騰 落 率	
(設 定 日)	円	%		%	%
'25年 8月 14日	10,000	－	10,000	－	－
8月末	10,192	1.9	10,140	1.4	103.6
9月末	11,557	15.6	11,539	15.4	107.3
10月末	12,564	25.6	12,466	24.7	98.8
11月末	13,216	32.2	13,177	31.8	99.3
12月末	13,748	37.5	13,752	37.5	103.5
'26年 1月末	16,779	67.8	16,821	68.2	100.5
2月末	16,387	63.9	16,306	63.1	99.5
3月末	14,615	46.2	14,666	46.7	99.7
4月末	14,769	47.7	14,690	46.9	99.6
5月末	14,513	45.1	14,267	42.7	100.3
(期 末)					
'26年 6月 22日	13,803	38.0	13,585	35.9	99.8

(注1) 騰落率は設定日比です。

(注2) ベンチマークは、「LBMA金価格(1トロイオンス当たり／米ドルベース)」の円換算ベースで、LBMA金価格(1トロイオンス当たり／米ドルベース)について、投資信託の会計基準に合わせて委託会社が独自に円換算および合成し、ファンド設定日を10,000として指数化したものです。

当期の運用実績

(2025年8月14日から2026年6月22日まで)

基準価額とベンチマークの推移



(注) ベンチマークは、「LBMA金価格(1トロイオンス当たり/米ドルベース)」の円換算ベースで、LBMA金価格(1トロイオンス当たり/米ドルベース)について、投資信託の会計基準に合わせて委託会社が独自に円換算および合成し、ファンド設定日を10,000として指数化したものです。

当期末の基準価額は13,803円となり、当初元本の10,000円に比べて3,803円の上昇となりました。

基準価額の変動要因

ベンチマーク(「LBMA金価格(1トロイオンス当たり/米ドルベース)」の円換算ベース)の動きをほぼ反映して、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境」をご参照ください。

ベンチマークとの比較

基準価額の騰落率は38.0%となり、ベンチマークの騰落率(35.9%)を2.2%上回りました。主な要因は、以下の通りです。

【ベンチマークとの差異の要因】

ベンチマークの騰落率との差異は運用管理コストや投資対象であるETFと現物金価格の差等が理由として挙げられます。

投資環境

(2025 年 8 月 14 日から 2026 年 6 月 22 日まで)

金価格市況

世界の株式市場は、米利下げ観測や米関税交渉の進展期待を背景に堅調に推移しました。期の後半には、中東情勢の緊迫化や利下げ観測の後退を背景にリスク回避姿勢が強まり調整する場面もみられました。期末にかけては、米国とイランの停戦合意を受けた地政学リスクの後退に加え、AI関連株を中心としたハイテク株高が相場を支える中、上昇しました。

債券市場は、中東情勢の進展やFRBの金融政策見通しを巡る思惑に左右される展開となりました。FOMC後は、米国の追加利上げ観測の高まりが債券の売り要因となった一方、米国とイランの停戦合意を受けた原油価格の下落がインフレ懸念の後退につながり、債券の買い要因となりました。

このような環境下、金価格は上昇しました。期の前半は米利下げ観測の高まりや地政学リスクの高まりを背景に堅調に推移しました。その後、期末にかけては米利下げ観測の後退や米ドル高が重荷となり、上昇幅を縮小しました。

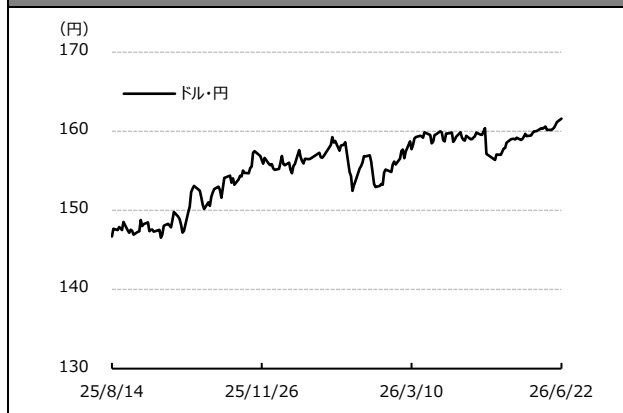
LBMA金価格(1トロイオンス当たり)の推移



為替市況

為替相場は、円安・ドル高となりました。期初は米利下げ観測の高まりが円買い・ドル売り材料となりましたが、積極財政と金融緩和を志向する高市新政権の発足による日銀の利上げ観測の後退と財政拡張への警戒から、円安が進行しました。その後は、中東情勢の緊迫化を背景とした原油価格の高止まりを受けて、日本の交易条件悪化懸念が意識されたことなどが円売り材料となりました。また、地政学リスクへの警戒を背景とした安全資産としてのドル需要や、底堅い米国経済を背景とするドル買いが優勢となり、期末にかけて円安基調で推移しました。

ドル・円相場の推移



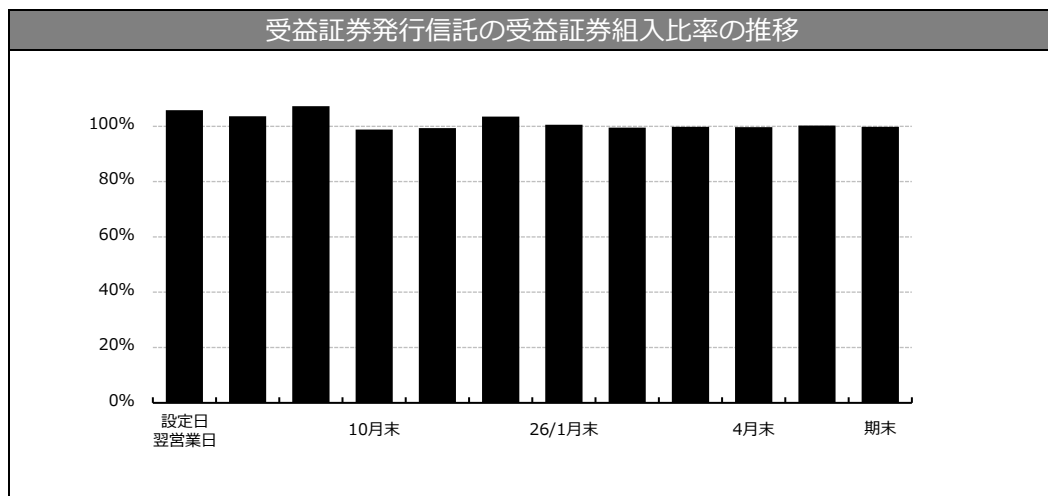
運用の概況

(2025 年 8 月 14 日から 2026 年 6 月 22 日まで)

当マザーファンドは、主として上場投資信託証券「SPDR® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト」に投資し、金現物市場を代表する指標であるLBMA金価格(円換算ベース)に連動する投資成果を目指し、中長期的な観点から、信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。投資対象上場投資信託証券への投資割合は、原則として高位を維持し、組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

受益証券発行信託の受益証券の組入状況

当期は、設定日翌営業日から受益証券発行信託の受益証券(SPDR® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト)の組み入れを開始し、設定・解約に伴う一時的な増減を除き、受益証券発行信託の受益証券を高位に組み入れました。



今後の運用方針

今後も引き続き、上場投資信託証券「SPDR® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト」に投資し、金現物市場を代表する指標であるLBMA金価格(円換算ベース)に連動する投資成果を目指し、中長期的な観点から、信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

◎1 万口(元本 10,000 円)当たりの費用の明細

項 目	当 期 (2025年8月14日~2026年6月22日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
平 均 基 準 価 額	13,834円	—	期中の平均基準価額です。
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (受益証券発行信託の受益証券)	4円 (4)	0.028% (0.028)	(a)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (受益証券発行信託の受益証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.007 (0.007) (0.000)	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・ その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	5円	0.035%	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含みます)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、マザーファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注4) 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

◎売買および取引の状況('25 年 8 月 14 日から'26 年 6 月 22 日まで)

○受益証券発行信託の受益証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	(アメリカ) SPDR® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト	百口 13,086	千米ドル 114,480	百口 244	千米ドル 1,960

(注1) 金額は受渡資金です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

◎利害関係人との取引状況等('25年8月14日から'26年6月22日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産の明細('26年6月22日現在)

○受益証券発行信託の受益証券残高

銘 柄		当 期 末		
		口 数	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ) SPDR® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト		口 1,284,250	千米ドル 107,157	千円 17,316,703
小 計	口 数 ・ 金 額	1,284,250	107,157	17,316,703
	銘 柄 数 < 比率 >	1	-	<99.8%>
合 計	口 数 ・ 金 額	1,284,250	107,157	17,316,703
	銘 柄 数 < 比率 >	1	-	<99.8%>

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する投資証券評価額の比率です。

(注3) 口数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、口数が単位未満の場合は、小数で記載しています。

当期末における株式および新株予約権証券の残高はありません。

◎投資信託財産の構成('26年6月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
受 益 証 券 発 行 信 託 の 受 益 証 券	17,316,703	99.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	138,193	0.8
投 資 信 託 財 産 総 額	17,454,896	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=161.60円です。

(注2) 当期末における外貨建純資産(17,329,489千円)の投資信託財産総額(17,454,896千円)に対する比率は99.3%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

◎資産、負債、元本および基準価額の状況

('26年6月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A)資 産	17,454,896,639
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	138,192,152
受益証券発行信託の受益証券(評価額)	17,316,703,712
未 収 利 息	775
(B)負 債	95,822,692
未 払 金	94,842,636
未 払 解 約 金	980,056
(C)純 資 産 総 額 (A－B)	17,359,073,947
元 本	12,576,287,289
次 期 繰 越 損 益 金	4,782,786,658
(D)受 益 権 総 口 数	12,576,287,289口
1万口当たり基準価額(C/D×10,000)	13,803円

- (注1) 設定元本額 208,623,895円
期中追加設定元本額 12,876,513,586円
期中一部解約元本額 508,850,192円
- (注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。
ステート・ストリート・ゴールド・オープン(為替ヘッジなし) 10,726,391,125円
ステート・ストリート・ゴールド・オープン(為替ヘッジあり) 822,904,098円
ゴールド/米国株式ファンド(為替ヘッジなし)＜適格機関投資家限定＞ 722,181,505円
ゴールド/米国高配当株式ファンド(為替ヘッジあり)＜適格機関投資家限定＞ 304,810,561円

◎損益の状況

当期 (自'25年8月14日 至'26年6月22日)

項 目	当 期
	円
(A)配 当 等 収 益	563,304
受 取 利 息	563,304
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 172,777,226
売 買 益	700,095,158
売 買 損	△ 872,872,384
(C)そ の 他 費 用	△ 594,041
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 172,807,963
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	5,141,169,001
(F)解 約 差 損 益 金	△ 185,574,380
(G) 計 (D + E + F)	4,782,786,658
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	4,782,786,658

- (注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。
(注2) (E)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。
(注3) (F)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

◎約款変更のお知らせ

「一般社団法人投資信託協会」を「一般社団法人資産運用業協会」への変更に伴い、信託約款において当該箇所について所要の変更を2026年4月1日に行いました。

◎ブランド名変更のお知らせ

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズはブランド名をステート・ストリート・インベストメント・マネジメントに変更いたしました。ステート・ストリート・インベストメント・マネジメントは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が行う資産運用関連業務のブランド名です。

＜参考情報＞ マザーファンドが投資対象とする外国信託の主な概要

ファンド名 (英語)	SPDR® Gold MiniShares® Trust
ファンド名 (日本語)	SPDR® ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト
商品性と仕組み	費用控除前ベースにおいて、金現物の値動きに連動する投資成果を追求します。 GLDM は、容易かつ低コストで金へ投資したいと考える投資家向けの商品です。 多くの投資家にとって、金現物の購入、保管および付保にかかる費用と比べ、GLDM の 売買にかかる費用および経費率の負担の方が下回ると考えられます。
計算期間	毎年 10 月 1 日から 9 月 30 日まで
管理会社 (スポンサー)	WGC USA アセット・マネジメント・カンパニー・エルエルシー (WGC USA Asset Management Company, LLC)
アドミニ ストレーター	バンク・オブ・ニューヨーク・ Mellon (The Bank of New York Mellon)
マーケティング エージェント	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ・ファンズ・ディストリビュー ターズ・エルエルシー (State Street Global Advisors Funds Distributors, LLC)
カストディアン	ジェー・ピー・モルガン・チェース・バンク・ナショナル・アソシエーション (JPMorgan Chase Bank, N.A.)

◎損益および純資産変動計算書（要約）
（計算期間：2024年10月1日～2025年9月30日）
シェア1口当たりのデータを除き、千米ドル

（単位：千米ドル）

費用	
スポンサー報酬	13,057
費用合計	13,057
費用の減額	—
費用純額	13,057
純投資損失	(13,057)

金に対する投資の純実現益／(損)及び純未実現益／(損)の変化	
スポンサー報酬を支払うために売却した金に対する投資による純実現益／(損)	3,626
シェアの償還のために分配された金による純実現益／(損)	1,154,537
金に対する投資の未実現益／(損)の純変化	4,164,118
金に対する投資の純実現益／(損)及び純未実現益／(損)の変化	5,322,281
純利益(損失)	5,309,224
シェア1口当たり純利益(損失)（米ドル）	25.06
加重平均シェア数(千単位)	211,884

運用活動により生じた純現金に対する純利益(損失)の照合	
純利益(損失)	5,309,224
運用活動により生じた純現金に対する純利益(損失)を照合するための調整	
費用を支払うための金の売却による収入	12,161
スポンサー報酬を支払うために売却した金に対する投資による純実現(益)／損	(3,626)
シェアの償還のために分配された金による純実現(益)／損	(1,154,537)
金に対する投資の未実現益／(損)の純変化	(4,164,118)
スポンサーに対する未払い金の増加／(減少)	896
運用活動により生じた純現金	—

純資産－期首残高	9,108,169
設定	10,397,053
償還	(3,960,181)
純投資損失	(13,057)
スポンサー報酬を支払うために売却した金に対する投資による純実現益／(損)	3,626
シェアの償還のために分配された金による純実現益／(損)	1,154,537
金に対する投資の未実現益／(損)の純変化	4,164,118
純資産－期末残高	20,854,265

◎投資明細表

(百分率を除き、金額は千単位)

2025 年 9 月 30 日	金のオンス数	コスト	公正価値	純資産の百分率
金に対する投資	5,452.1	\$14,202,521	\$20,855,894	100.01 %
投資合計		\$14,202,521	\$20,855,894	100.01 %
その他の資産を超過する負債			(1,629)	(0.01)%
純資産			\$20,854,265	100.00 %